



安東学区

第28号

社協だより

広島市安佐南区安東学区社会福祉協議会

編集 広報委員会

心温まる地域の支えとともに

広島市立安東小学校

校長 宗像 直子



今年度は、始まってすぐに約2カ月の臨時休業、6月からの学校スタートとなりました。

再開後も常にコロナとの闘いの毎日でした。地域の方と触れ合える学校行事なども全てが中止となつてしまいました。そんな中でも、地域やPTAの方々は、毎日、児童の安全のため、雨の日も暑い日も登下校の見守りにご尽力いただきました。

また、毎月の「あいさつ運動」では、朝早くから児童に優しく声をかけていただき、本当にありがとうございます。また、3年生と4年生では、例年と同じく、総合的な学習の時間を地域の方々のご支援のもと、実施することができました。3年生では、安佐南区伝統の広島菜の活動です。残暑厳しい9月の畑作りに始まり、種まき、水やりや草抜きなど、幾度となく学校に足を運んでいただき、広島菜の成長を見守っていただきました。おかげさまで、広島菜は立派に大きく育ち、大収穫となりました。収穫時や広島菜漬け作りでも、児童の作業の手助けや漬け方のアドバイスなど最後までご支援いただきました。漬け上がった広島菜は、とても美味しく、販売されているものと変わりないくらいのお出来栄で、家庭に持ち帰った児童も「おうちの人ですごく美味しいと言っていたよ」とうれしそうに学校で報告してくれました。

4年生では、学区自主防災会連合会の方々を中心となつて防災教育にご協力いただきました。



災害時での電気、水道、ガスなどのライフラインの状況や対策を学びました。また、過去に起こった安佐南区での災害の様子を防災士の方や、せせらぎ女性消防隊の方々詳しくお話ししていただきました。自分たちの住んでいる地域のことだけに、特に児童にとっては心に残るものとなりました。この活動から児童は、分かったことや感じたこと、これからどうしていったらよいかをポスターや新聞にまとめていき、発表につなげていく予定です。このように、日頃の学校の学習だけでは学べない、地域の方々のご協力があつての貴重な体験を児童に味わせていただき、本当にありがとうございます。

ウイズコロナ時代の今、学校現場でもICTを活用した事業づくりが少しずつ整備されてきています。しかし、パソコン上では味わえない学び、その地に伝わる伝統の技や教えは、児童が実際に体を使って体験してみてもそのものであり、そこで感じる感動や達成感は、いつの時代でも大切なことだと思います。この安佐南区で、この安東で育っていく児童をこれからも地域の方々とともに見守っていきたいと思います。今後とも本校の教育活動へご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

救急医療キット「命の宝箱」の設置活動・ 「緊急連絡カード」について

・なぜ「命の宝箱」をつくったのか

2005年(平成17年)に老年人口が20%を
超え高齢化問題が社会問題となったところ、ひとり高
齢者や高齢者世帯の方々の緊急時の連絡先がわから
ず手遅れになることが全国的に問題となりました。

そこで2011年(平成23年)安東学区社会福祉
協議会が主体となって「命の宝箱」の設置活動を行
い始めました。しかし、個人情報や家族の問題があ
り、なかなか高齢者の皆様にこの活動が浸透しま
せませんでした。

・高齢者世帯の実態

現在、高齢者世帯は独居世帯と同居世帯(高齢者
夫妻、高齢者親子)があげられ、問題となるのは高
齢者の「孤独死」です、最近では「同居孤独死」が
増加傾向にあります。これは同居人が認知症や寝た
きりのため、配偶者らの異変や死亡を周囲に伝えら
れなかったことが原因です。

淑徳大学の結城康博教授によると認知症や寝たき
りなど介護が必要な2人世帯の増加により、今後さ
らに進行化する可能性が高いため住民らの協力も仰
ぎながら見守りの仕組みを構築する必要があるとい
われています。

・「命の宝箱」の必要性

厚生労働省は2019年各自治体に独居世帯の困
窮や健康状態に関する情報を老人会などと共有し、
生活保護や介護など福祉サービスの利用を促すよう
求めました。これを受けて各自治体は民生委員や地
域住民による定期訪問だけでなく宅配業者や電気・

ガス事業者らと協定を締結し、配達物がたまったり、
料金が滞納されたりすれば連絡してもらおう取り組み
を進めています。そして、異変を発見した時、迅速に
命を救う手段として「命の宝箱」は必要となります。
また、高齢者が高齢者を介護する「老々介護」のリス
クや「8050問題」は以前から指摘されており「独
居世帯」が中心の見守り活動を同居世帯にも拡充する
ことが必要です。安東地区民生委員児童委員協議会
は、各民生委員が担当地区を定めて「命の宝箱」の必
要性を啓発しておりますので担当地区民生委員に気
軽にご連絡ください。

・「緊急連絡カード」の携帯

外出時の異変の祭のために「緊急連絡カード」の携
帯を勧めています。詳しいことは各地区担当民生委員
にお尋ねください。

安東地区民生委員児童委員協議会

会長 新谷 選文



携帯用 緊急連絡カード	
ふりがな	
氏名	(男・女)
住所	
自宅電話	
携帯電話	
生年月日	明・大・昭 年 月 日

※お願い 万一の緊急時の緊急連絡先に連絡してください。

氏名	住所	電話	担当地域
中元 時子	相田 1-3-6	082-878-8322	相田 1-1~8・16 (一部) 17
川口 淑子	相田 2-4-5	082-878-2379	相田 1-9~13・14 (一部) 15・16 (スカイハイツ) 相田 2-4~8 相田 4-1
大田 博行	相田 2-2-3	082-878-8852	相田 1-14 (七塚下組) 相田 2- (七塚上組・下組) 1~3・10~19
藤岡 輝久	安東 1-2-27	082-872-3535	大町東 4-13、安東 1-1~10・28、安東 2-1~6・13 (南部山) 14~19・20・21
池田 良則	安東 1-8-9	082-872-1112	安東 3-1~12
古生 伸子	安東 1-24-4	082-878-9741	安東 1 (すみれが丘) 8・11~27・29~32
地頭 敏子	安東 4-9-8	082-872-3477	安東 4-1~14・15 (一部) 16・17
北村 章	安東 4-27-26	082-836-3910	安東 4-15 (一部)・18~34
瀧川 雅江	安東 4-28-26	082-878-5004	安東 4-35~51、毘沙門台 4-5 (一部) 安東 5-1~3
玉置 勝之	安東 5-6-1	082-878-5028	安東 5-4~17

氏名	住所	電話	担当地域
新谷 選文	安東 5-29-12	082-872-5955	安東 5-18~33・40・35
尾崎 一徳	安東 6-11-49-3	082-872-9749	安東 2-11 (一部) 安東 6-1~23
兼田 美穂	安東 2-7-16-2	082-872-9292	安東 2-7~12・13 (鯛之迫) 20 (鯛之迫) 安東 6-2 (1件) 上安 1-13・14・21 (鯛之迫) 22 (鯛之迫)
平野 雅子	安東 7-21-6	090-9960-1233	安東 7 (グリーンハイツ)
爲汲 玲子	安東 3-12-1	082-878-0727	全域
山田恵美子	安東 4-34-26	082-872-6790	全域

安東地区民生委員児童委員の氏名と担当地域の紹介です、よろしくお願いいたします。



新規事業 「花いっぱい運動」に取り組む



令和2年度の安佐南区社会福祉協議会の「学区社協取り組み活性化助成」を利用して安東学区社会福祉協議会は「花いっぱい運動」に取り組んでいます。この取り組みの趣旨は学区内の美化運動の推進と広島市高齢者いきいき活動ポイント事業の対象者が65歳以上に引き下げられたことにより多くの住民の方の参加が期待されますので活動の受け皿を増やすねらいがあります。水やりや花々の生育管理に協力して下さる協力員には、1活動日につき2ポイント（一般的なボランティア活動）の活動ポイント（学区社協、各町内会、自治会のスタンプ）が取得できます。新型コロナウイルス感染予防対策のため活動への取り組みが遅れていますが12月の定例理事会で5地区の町内会・自治会（中央グリーンハイツ自治会、鯛之迫町内会、相田七塚上組町内会、七塚下組町内会、スカイハイツ相田自治会）から協力を得ることができました。水やりや生育管理の協力者も現在26人が参加を希望されています。プランター、腐葉土、花の苗を提出していただいた企画書を参考に必要数量を準備して、3月上旬を目標に各自治会、町内会に配布いたします。新学期、安東小学校の新1年生が通う通学路が花いっぱいであるように準備したいと思います。「花いっぱい運動」は今後も継続して行きますので水やりなどの協力をいただける方は各町内会・自治会長までお申し込みください。

地域福祉推進委員 永中憲成

藤原・前田さんに感謝状



藤原敏晃さん

このたび、本市立学校の幼児、児童、生徒の登下校等における交通事故の防止のため、長期間にわたって街頭指導の活動に奉仕された交通安全推進隊員の藤原敏晃さんと前田耕志さんに、広島市教育長感謝状が授与されました。

おめでとうございます！



前田耕志さん

小泉・森光さんに表彰状



小泉紳二さん

令和2年度広島市社会福祉大会で安東学区社会福祉協議会副会長の小泉紳二さんに広島市社会福祉協議会会長表彰が、また令和2年度安佐南区社会福祉大会で安東学区社会福祉協議会理事の森光雅之さんに安佐南区社会福祉協議会会長表彰がそれぞれ授与されました。

おめでとうございます！



森光雅之さん

温かい善意のご寄付ありがとうございました。

元喜クラブ安東様から金3,881円をご寄付いただきました。
地域福祉の推進に有効に活用させていただきます。





団体紹介

安東女性会の活動

安東女性会 会長 河野博子

安東女性会は現在約60人の会員がいます。令和2年度は新型コロナウイルスの影響であらゆる行事が中止となってしまいました。女性会は学区での活動だけでなく安佐南区、広島市の行事にも参加しています。主な活動の内訳は3つに分けられます。

(1) 地域の絆づくり

安東公民館まつり（安東・毘沙門台グリーンフェスティバル）では女性会独自のバザーを開き、手作りの布ぞうりや遊休物品を持ち寄り販売しています。学区のサロン交流会への協力参加や年末の公民館の大掃除の日には、ぜんざいを作り皆さんに食べていただくなど、地域とのふれあいを大切にしています。安佐南区の一大イベントである区民まつりパレードには踊りで参加をします。

事前に行われる数回の踊りの練習では、他の地域の女性会との交流もでき親睦を深めています。区民交流駅伝大会の日には競走終了後に温かいうどんを作り参加者に食べていただきます。スポーツではペタンク、グラウンドゴルフ大会に参加して会員の健康維持に努めています。

(2) 安心・安全な地域づくり

防災、防犯講習にもできる限り参加して地域の心配ごとや課題に目を向けています。防災訓練では自治会の方々と協力し炊き出しを行い、いざと言う時に備えています。また安川清掃キャンペーンではきれいな地域づくりを目指して参加しています。

(3) 福祉の町づくり

福祉活動は「赤い羽根共同募金」活動や「なでしこ募金」活動（DV被害者支援）に参加しています。子育て支援では常設スペースの受付係を手伝い、子どもさんとのふれあいを楽しんでいます。最後に会の課題ですが、女性の社会参加が浸透していくなかで働く女性が増えています。若い方の入会が難しくなり会員の高齢化が進んでいます。

若い世代の協力と参加を望んでいます。女性の視点から住みよい地域、安東学区を次の世代につなげて行ける女性会でありたいと願っています。



町内会 自治会だより

「安のちに根差して」

スカイハイツ相田自治会
会長 三木正之

元号が昭和から平成に移した秋、武田山の北側に位置する相田の地に突如として14階建ての高層マンション、私たちが居住する「スカイハイツ相田」が完成しました。

すぐ近くに2カ所の公園や商業施設、病院等があり、都心から程よい距離で交通利便も良く、町中の喧騒もなく、夏には蛍が舞い、小溝には小鮒が泳ぎ、時たま15センチ程もある「オオモリアオガエル」がベランダから顔をのぞかせます。

そのような地に憧れ、終ぞの地として多くの方々が入居してまいりました。

しかし、それまで近くには4階建てを超える建物は少なく、電波障害や日照権等の懸念から、地域の方々との確執が少なからず感じられました。

そのためマンションに関する法律により、財産の保持を目的とした管理組合を素早く設立したものの、良好な生活環境維持のためには、周辺の方々との融和が最大の課題と位置づけ、初代理事長は日夜奔走され、度重なる協議の結果、理事会と併設して単独自治会を設立しました。

私も当時副理事長として微弱ながら協力してまいりましたが、初代理事長兼自治会長には、今もって尊敬と感謝の念が堪えません。

そして、地域の運動会、盆踊り、秋祭り等の行事やソフトボール大会、ソフトバレー大会、卓球大会にも積極的に参加。

その後には自然災害等への対応強化のため地域と連携した活動を行い、正直若干の疲労感は伴いましたが、周辺の方々との付き合いで、楽しいひと時を過ごすことができたと思います。

あれから30年余り。

元号は、さらに平成から令和へ……。

ようやく地域に溶け込んだような気がしております。

そして、これからも、いつまでも……！！